

小さな芽 届け未来へ 緑の力 (平成22年度緑化運動テーマ)



県北地方緑化推進委員会

合同植樹祭が開催されました

5月20日に、白岩の岳山ふれあい広場で、県北地方緑化推進委員会合同植樹祭が開催されました。

この合同植樹祭は、県北地方緑化推進委員会が環境緑化の推進と緑化意識の高揚を図ることを目的に開催したものです。佐藤市長が主催者を代表してあいさつを述べ、来賓

の祝辞に続いてヤマモミジ4本を記念植樹しました。

あいにく小雨の降る中での植樹祭となりましたが、白岩小学校の緑の少年団が参加して、アジサイ10本を植栽したほか、市内の各種団体の皆さんもアジサイ50本を植栽しました。



(右上) 記念植樹の様子。(左上) 緑の少年団の皆さん。(下) 池の岸边にきれいに植栽されたアジサイの苗。

本宮市納税貯蓄組合連合会総会

納税功労者などを表彰

本宮市納税貯蓄組合連合会の総会が6月8日に市役所で開催されました。

その席上で、長年納税組合長として、納税思想の啓発に努め、組合の育成に多大な貢献のあった納税組合長6名と、5年継続完納納税組合の5組合に表彰状などが贈られました。また、平成21年度完納納税組合は35組合で、市から報償金が交付されました。

表彰された方と団体は次のとおりです。

■納税功労者表彰(敬称略)

【館ノ越第1】 會田キヨ 【鳴神台】 伊藤 弘
【中條 共栄】 遠藤基榮 【戸崎2】 増子寿和
【仁井田第1】 永山英昭 【船 板】 根本昌明

■5年継続完納納税組合表彰

大町3、舟場、北ノ脇、高木共栄、羽瀬石 第2



▲中野副市長から表彰状を受ける仁井田第1納税組合永山英昭組合長。

東北水防技術競技大会で奨励賞

水の守りは万全です



▲手際よく月の輪工を実施する団員の皆さん

5月29日、秋田県能代市の米代川左岸河川敷において、第5回東北水防技術競技大会が開催され、本宮市消防団が、奨励賞に輝きました。

この大会は、これから河川の増水などで堤体の洗掘などによる被害を防ぐ水防技術を高めることを目的に毎年開催されているものです。

競技は、東北各県代表の合計6チームが出場し、月の輪工とシート張り工を実施し、作業手順、時間、出来栄を競いました。

日本大学の学生来訪

田植え体験と聞き取り調査を実施

5月15日に本宮市と交流を続けている日本大学の学生21名が本宮市を訪れ、田植え体験や市内の農家や直売所などで聞き取り調査を行いました。

参加したのは日大の新海ゼミと沼尾ゼミの学生たちで、慣れない手つきながら、古代米の苗を一本一本丁寧に植え付けたり、野菜作りについて聞き取り調査を行いました。

学生たちは、この後も、本宮市を訪れる予定で、秋にはその成果を市に報告する予定となっています。



(上)素足で田植えを行う学生のみなさん。
(下)トマト栽培の聞き取り調査

おめでとうございます

渡邊彦幸さんに高齢者叙勲



▲佐藤市長とご親族の方々との記念写真を撮る渡邊さん（前列中央）

5月12日に元本宮町議の渡邊彦幸さん（関下字仲之内）への高齢者叙勲の伝達式が、渡邊さんの自宅で行われました。鈴木千賀子東北地方振興局長から勲記と勲章が手渡され、佐藤嘉重市長が「今の本宮市があるのは渡邊さんをはじめ先人の皆さんの努力のおかげ」とお祝いの言葉を贈りました。

渡邊さんは「地域の皆様のご支援とご協力のおかげです」と感謝の言葉を述べました。

渡邊さんは本宮町議を昭和42年4月から平成7年4月までの6期24年、本宮町農業委員を5期15年務め、町勢発展に尽力されました。

本宮市と関東西部運輸株 企業立地に関する 基本協定を締結

基本協定を締結

5月27日に本宮市役所で本宮市と関東西部運輸株（本社：千葉県野田市、田口国昭代表取締役）は企業立地に関する協定を締結し、工業用地分譲契約書に調印しました。

関東西部運輸株は、荒井字恵向の工業等団地に5、140平方メートルの土地を取得し、西部運輸グループ7社目となる

「東北西部運輸」を設立、東北地方の物流拠点とする計画です。9月に操業を開始し、当初約10人のドライバーを地元雇用し、将来的に30人から50人程度を雇用する考えです。田口国昭代表取締役は「地域密着型の企業を目指します」と話しました。



▲企業立地基本協定締結後、佐藤市長と握手を交わす田口代表取締役

◆問い合わせ先
商工労政課企業誘致係（☎内線150）